



がおりゆくもの、 かわらないもの

小泉 巧 KOIZUMI TAKUMI

2026.10.2(金)～12.6(日)

開館時間：午前 9：00～午後 5：00（入館は午後 4：30 まで）

休館日：月曜日（祝日と11月16日、11月30日を除く）

豊田市小原和紙のふるさと 小原和紙美術館

〒470-0562 愛知県豊田市永太郎町潤 216-1 TEL：0565-65-2151

主催：豊田市小原和紙のふるさと



令和8年度 文化庁
文化芸術創造拠点形成事業



かわりゆくもの、かわらないもの

変化の多い、そしてその速度が増し続ける現代において、漆や和紙^{うるし}に向き合うことは、時間の流れそのものに触れる行為であると感じています。漆が硬化するまでのゆるやかな時間は、私たちの日常の感覚から少しずつ遠ざかりつつあるものでもあります。

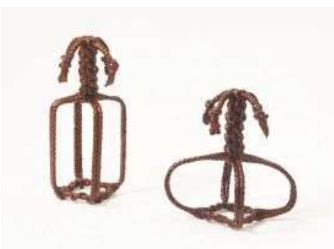
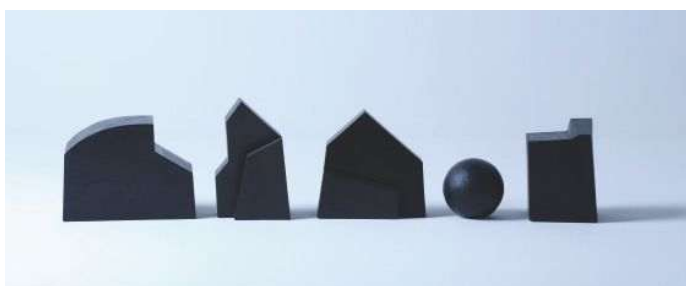
制作を続ける中で、急速に変化する現代の時間と、自分の身体が感じている時間とのあいだに、“ずれ”を覚えることがあります。その“ずれ”は、ときに不安のようでもあり、しかし同時に、そこに留まりたいと感じさせるものでもあります。完全に同化することも、完全に離れることもできない——そのあいだで揺れながら、私は現代における漆の在り方を考え続けています。

本展では、そうした思考の中から、人々の生きる時間

や空間に寄り添う漆工芸の可能性を探ります。漆や和紙が持つ工芸的なアプローチは、現代のスピードとは異なる時間性を内包しています。それらをあえて対置することで、素材が内に抱える多層的な時間や視点のずれを体感していただくことを目指します。また本展では、作品の配置によって生まれる「間（ま）」を通して、空間のリズムを構成します。モノとモノ、モノとヒト、ヒトとヒトのあいだに生まれる距離の中で、鑑賞者が自身の呼吸や時間の流れを意識する場をひらきます。

変わり続けるものと、変わらずに在り続けるもの。そのあいだにある感覚を、静かにすくい上げる試みです。

小泉 巧



小泉 巧は、紙と漆を用いた「紙胎（したい）」の技法によって制作している漆芸作家です。紙を折ったり、曲げたり、素材を探索する過程を経て、紙と漆ならではの造形を生み出しています。端正な器でありながら、そのシルエットは遠くにそびえ立つ構造物のようでもあり、紙の軽やかさを感じたかと思えば、漆がもつ深みや重さを感じられたり。本展では、その「あはひ※」に紙や漆が持つ揺らぎや可能性を探ります。
※あはひ…物と物と間、関係を意味する古いことば

豊田市小原和紙のふるさと

小泉 巧 (Koizumi Takumi)

京都生まれ / 主に紙に漆を塗る「紙胎」技法を用い、日用品から立体作品まで幅広く制作している。うまく言葉で言い表せない、でも自分の中に確かにある、“心地よいかたち”を制作のよりどころにしている。現代社会において生活から離れつつある漆工芸だが、人々に寄り添うような漆の可能性を探索し続けている。

主な個展

- 2021 「線に依る」アートギャラリー北野（京都）、「漆のもの、然々」KIKKAKEKKO（滋賀）
- 2023 「海鳥たちに「おはよう」と」Pottari gallery（東京）
- 2024 「KOIZUMI TAKUMI at NOTA_SHOP」NOTA_SHOP（滋賀）

主なグループ展等

- 2022 「小泉 巧 / 田井 昭江」KIKKAKEKKO（滋賀）
「nuance」SOQSO（京都）、「taste」ギャラリー 八角（京都）
- 2023 「点」ギャラリー？（京都）、「水平と垂直からのジャンプ」水犀（東京）
- 2024 「POLYPHONY OBJECTS」Karimoku Commons Tokyo（東京）
- 2025 「ほのか うららか ふふむ たたずむ」gallery サラ（滋賀）
「我们为手作 Why We Craft PART2 Monotone and Chic」BY ART MATTERS MARKET（中国・杭州）
「兀兀 kotsu kotsu 小泉 巧 × 堀内 快」atelier & gallery Creava（石川）

その他制作

- 2022 Aman 京都 開業3周年記念「森の庭 茶箱セット」茶器・建水
- 2024 Six Senses 京都 Moss Bowls 制作
- 2025 Aman レジデンス Vase 制作
- 2026 Capella 京都 アートピース制作



ワークショップ

うるしでお絵かき 紙胎のお皿に絵付け体験

紙とうるしでできた「紙胎（したい）」のお皿に、カラフルなうるしを使って絵をかきます。うるしといえば黒と赤をイメージするかもしれませんが。実はいろんな色を使うことができます。好きな色をつかって自分だけのお皿をつくりましょう。



日 時：①10/11(日)、②10/17(土) 午後1:00～午後3:00

会 場：豊田市小原和紙のふるさと 和紙とうるし工房

参加費：1,500円（原材料費・郵送での作品お届け希望の場合 別途430円）

定 員：各回10人（先着順）

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

申 込：小原和紙ふるさとホームページ内のお問い合わせフォームから。

受付開始：9/26(土) 午前10:00～

注意事項：本物の漆を使います。体質によってはかぶれることもあります。かぶれた場合の責任は負いかねますのでご注意ください。

かわりゆくもの、かわらないもの 小泉 巧

2026.10.2(金)～12.6(日)

開館時間：午前9:00～午後5:00（入館は午後4:30まで）

休 館 日：月曜日（祝日と11/16、11/30を除く）

観 覧 料：一般200円（有料入館者20名以上の団体は1人150円）

※豊田市内在住の18歳以下と70歳以上、豊田市内在住または豊田市内の高校に通学する生徒、身体障がい者手帳等の交付を受けている方は無料。（要証明書）
※他の減免については豊田市小原和紙のふるさとホームページをご覧ください

豊田市小原和紙のふるさと 小原和紙美術館

〒470-0562 愛知県豊田市永太郎町洞216-1

TEL：0565-65-2151 WEB：<https://www.washinofurusato.jp>

交通案内

- 公共交通機関をご利用の場合（とよたおでんバス）
豊田市駅から上仁木行きで約60分、和紙のふるさとバス停下車
- お車をご利用の場合
狼投グリーンロード中山 I.C. から国道419号線を北へ約15km

豊田市小原和紙のふるさと WEB サイト

